

東京交通新聞 2010 年 12 月 20 日（月曜日）

<介護と輸送のプロ提携>

ニチイ学館と全タク連加盟社

242 拠点 5290 人対象に

介護業界と運送業界とのプロ同士の業務提携が実現した。介護サービス大手のニチイ学館（本社・東京都千代田区、寺田大輔社長、資本金約 119 億円）は同社が経営する全国 242 拠点の介護施設の移動サービスを全国ハイヤー・タクシー連合会加盟の各地のタクシー会社に委託する旨を先月末に同連合会に申し入れ、全タク連では各都道府県タクシー協会を通じ協力態勢をとった。神奈川県が先行的にニチイの地元施設と運送契約を締結した。介護業界では移動部門のアウトソーシングが課題ともなっており、今後、各地で同様の提携が進む可能性がある。一般タク需要が落ち込むタク業界にとって高齢社会に伴う有望な新規需要となりそうだ。

ニチイ学館は全国約 1200 事業所で 11 万人を超える利用者を対象に在宅系と施設系の介護サービスを提供し、医療関連などを含むと年商約 2,300 億の東証 1 部上場の大手企業。コムスの介護タクシー部門を含む在宅系介護サービス事業を 2007 年に子会社として承継したが、昨年 10 月に本社に吸収合併した段階で青ナンバー車両による営業からは撤退していた。

昨年 11 月、同社の和歌山のデイサービス施設の自家用送迎車両が交通事故を起こし利用者 3 人が死亡した事件をきっかけに、再発防止策が急務となっていた。同防止策では運転のプロを保証する二種免許の取得を柱に据え、今回、タクシー業界に運送委託の話が持ち込まれた。

同社では「私どもは介護のプロ。これに二種免許を持った運転のプロが連携し一緒に業務することで、安全・安心をモットーとする当社の介護サービスを一層充実できる」としている。

全タク連では「2006 年 9 月の国土交通省と厚生労働省が合意した『介護輸送の法的取り扱い』で施設介護輸送は旅客運送事業者への外部委託を促進するとした方針に合致しており、今回の依頼は地域のタクシーが担うことが望ましい」として先月末、各協会に各社の協力方を文書で連絡した。

ニチイが全タク連に具体的に依頼した業務は、全国 242 拠点の有料老人ホームとグループホームを利用する 5290 人の運送。通院や買い物などの外出利用が見込まれている。タクシー会社は拠点ごとに運送契約、施設から毎月の利用運賃分の支払いを受け取る。

31 拠点のある神奈川県では既にタクシー 2 社と契約を締結したほか、約 10 社と交渉中だ。全国的には各タクシー協会から紹介されたタクシー会社と選定に向けた交渉を進めている。

ニチイでは施設の外出移動部門について、今回、タク業界にアウトソーシングしたが、同社のデイサービスに従事するヘルパーが二種免許を取得するよう奨励しており、「今後も外注を継続するか、運転スキルを養成した自前の態勢を組むかは、今回の対応を眺め

コスト面など総合的に見て判断する」としている。

全タク連の漢二美ケア輸送委員長の話

全面協力していきたい。二種免許の価値を重視し、タクシーを選定していただきありがたい。労務、運行、車両の全てを管理するタクシーに外注した方が合理的だから、今後、介護施設からの要請は増えよう。これを契機に24時間365日動くタクシーの強みを世の中に売り込み、地域輸送はタクシーだと定着させていきたい。